

授業科目名	日本音楽の歴史	担当形態	講義		
		開講学期	春学期		
担当教員	新海 立子	単位	2	年次	3

### ＝授業のテーマ及び到達目標＝

私たちの世代まで受け継がれ、生き続けている様々な日本音楽、日本の豊かな音楽芸能を聴く耳を持つために、日本音楽の歴史的流れを理解し、その価値を認めることができるようにすることを目標としたい。

### ＝履修の条件と学習の方法＝

鑑賞をはさんだ講義です。各自、筆記用具を持参し、必ず自分のノートに授業内容を書き取って下さい。毎回、授業のまとめと気づいたことをレポートとして提出します。授業時間外には参考書などを読み、知識を補って下さい。携帯端末使用は禁止します。

### ＝授業の概要＝

吉川英史著『日本音楽の歴史』の各章を参照しながら、日本音楽のそれぞれの時代における音楽の様相、各ジャンルの源流や成長、隆盛、衰退の歴史を考察します。具体的には、雅楽、声明（仏教音楽）、能楽、箏曲、尺八、琵琶楽、文楽、歌舞伎、民謡、わらべうたなどを取り上げます。

### ＝授業計画＝

- 1回 ガイダンス：シラバス（講義の目標や内容）の確認
- 2回 原始民族音楽時代
- 3回 大陸音楽輸入時代：5世紀から奈良・平安時代にかけて
- 4回 大陸音楽消化時代1：平安時代の遣唐使停止以後
- 5回 大陸音楽消化時代2：雅楽
- 6回 民族音楽興隆時代1：能楽
- 7回 民族音楽興隆時代2：平家から三味線伝来まで
- 8回 民族音楽大成時代1：近世箏曲の確立
- 9回 民族音楽大成時代2：歌舞伎と長唄
- 10回 民族音楽大成時代3：文楽人形浄瑠璃
- 11回 民族音楽大成時代4：三曲合奏
- 12回 洋楽輸入時代：明治時代
- 13回 洋楽消化時代：大正から昭和、第2次世界大戦終了まで
- 14回 再び民族音楽興隆時代1：第2次世界大戦後から現代まで
- 15回 再び民族音楽興隆時代2：現代日本音楽の諸相

### ＝テキスト（必携）＝

特になし

### ＝参考書・参考資料（必携）＝

音楽之友社『新編 音楽中辞典』、平凡社『音楽大事典』。配布資料はありません。

### ＝成績評価の方法と評価の基準＝

毎回提出レポート五割、学期末レポート試験五割の割合で総合評価します。授業を充分理解し、参加に問題がない場合はA評価、授業をいちじるしく妨害した場合はC・D評価もあります。

**=その他=**

特になし